

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ KTC中央高等学院 ] 担当教諭名 [ 大津 和範 ] ( 1・2・3年 15名 )

交流相手国 [ ウガンダ ]

海外学校名 [ St.Mathias Kalembe Senior Secondary School ] 担当教諭名 [ Kayizzi Andrew / 橋本 礼生(JICA) ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	グローバルについて	8

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	平和
絵に込めたメッセージ	日本の現代文化を描き、両国の共通、平和の象徴となる鶴を描き交流。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
両国の共通点をネットで探し、相手国の理解をすることができた。ビデオレターを英語で作成し、生徒にグローバル感を身につけることができた。こちら側の作品が完成したときに、生徒の達成感がみられた。	相手国の状況がよく把握できなかった。ネット環境等ではない面もあるかと思いますが、うまく改善できればいいと思います。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
全家庭にKTC通信(新聞)で告知。展示	1週間ほど掲示し、来校される方が驚いていた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	7月	相手国【ウガンダ】調べ。壁画内容の検討	アフリカの歴史、文化、厳しい環境など理解することができた。	総合
情報収集	8月	ビデオで自己紹介	自ら英語で自己紹介文を作成することができた。	総合
制作	10月	絵が得意な生徒を中心に絵を制作	相手国を想像しながら、熱心に書いていた	総合
鑑賞	11月	共同制作した絵の鑑賞	自分たちの成し遂げた壁画の大きさにみとれていた。	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	5	相手に伝えるために詳しく自分たちの身近な文化について調べて、あらためてふるさとの良さに気づいた
異文化の理解	A	5	交流相手の文化や生活が自分たちと似ているところと違うところがあることが分かって、相手に対する関心が深まった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	ビデオで自己紹介レターを作成。英語に対して、興味を持つようになった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	3	インターネットで相手の情報を集めた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	相手をイメージして、生徒同士で会話が増えた
協働する力 (役割分担・協力)	B	5	役割担当を決めてしっかりと進められた。
学習を追究する意欲	B	5	最後まで、相手の国のことをもっと知りたいもっと伝えたいという意欲が続いた
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	一人一人が相手に伝えたいことを絵に表して、みんなで大きな絵にすることができた
作品を鑑賞する力	B	5	自分たち側の作成したものを展示。達成感を持つことができた。